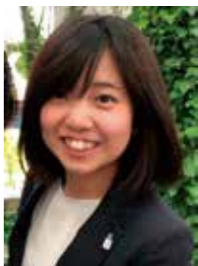


平成30年3月工学部建設工学科卒業
丸尾 有紀 (まるおゆき)



小学校から想い続けて

みなさん、こんにちは！

平成30年3月に徳島大学工学部建設工学科を卒業後、積水ハウス株式会社に入社した丸尾有紀と申します。

現在は小学校からの夢でもあった、住宅の設計課に所属し、社会

人一年目として、研修の日々を過ごしながら、実際の業務に少しずつ関わらせていただいています。また、最近では二級建築士の資格取得に向け勉強を頑張っています。

私は大学時代、建設工学科の昼間コースに所属していたため、毎日18時までは土木・建設系の授業を受け、19時から21時までの間に、現在の職業とも関係のある建築の授業を学ぶダブルスクールの様な形で日々を過ごしていました。また、建築の模型等を作ったりするのに興味があったため、建築サークルというものに所属し、サークル仲間と建築コンペや地域の建築活動等に積極的に参加してしま

た。その甲斐もあってか、現在の会社に就職することができ、大学時代の活動が改めて重要であったことを身に染みて感じています。

一日に何社も面接！
大変な就職活動

今、現在就職活動中の方、またインターンシップ等にこれから参加される方、多くいらつしやると思います。マナーにも気を使わなければならぬし、面接ばかりで緊張の連続、これから不安な人もいるかもしれません。でも大丈夫です。面接は数をこなしていくうちに慣れていき、誰もが面接マスターになれると思います。エントリーシートは最初を書いていいの？「自己PR」？と私も悩みました。最初は自分を良く見せよう良く見せようと思いましたが、あるインターンシップで人事の方にエントリーシートよかったら、見ていただけませんか？とお願いしたことがあります、その時に頂いたアドバイスは、「読みにくい、何度も最初から読み直さないと頭に入らな

い」とのことでした。諸説あるとは思いますが、その人事の方がおっしゃるには、エントリーシートで注目している点は、今までの人生で苦労した経験、挫折した経験に対し、その壁を自分でどう乗り越えたのかというご様子です。そこでエントリーシートの書き方が理解でき、その後はすらすらとアイデアが浮かびました。なので、就職活動しないといけないけど、何をすればいいかわからない、エントリーシートの書き方がわからない等、悩んでいる方がいましたら、どこでもいいです、ぜひインターンシップに参加してみてください！自分の性格に合う会社なども見つけられるかもしれないし、インターンシップに参加していたという理由で、就職活動が他の人よりスムーズになることもあるようです。

学生のみなさんへ

自分が将来何をしたいかわからないという方も結構おられると思います。そんな方は、大学生の間



同期のみなさん



研修風景

に、積極的に色々経験するのが一番だと思います。それは、サークル活動でも、アルバイトでも、インターンシップでも、旅行でも、何でもいいと思います。ささいなきっかけが将来に繋がることもあると思います。大学生活、めいっぱい楽しんでください！

就職

活動記

就職活動を振り返って

へ就職する人がほとんどです。しかし薬局、病院、企業では働き方が異なり、また地域や規模によってもその特徴は様々で、何が私に合う職業なのかわかりませんでした。

そこでまず実際に働いている方々の話を聞き、薬剤師がどのように活躍しているのか知ることから始めました。具体的には薬局や企業の合同説明会に参加したり、病院の見学やインターンシップに参加したりと、実際に働いている方から情報収集することに力を注ぎました。その中で私は公務員という仕事に興味を持つようになりました。薬剤師というと薬を扱う

イメージがありますが、公務員は病院勤務だけでなく薬事、衛生、検査業務など領域が多岐にわたることが特徴であり、転職にも似た部署移動により様々な経験を得ることが出来ます。1つの業務に固執することなく、ゼネラリストとして薬学部で学んできた知識を幅広く活かすことができる公務員薬剤師に魅力を感じ、就職活動を始めました。

公務員への就職活動を決めてからは目まぐるしい日々が始まりました。公務員になるためには、筆記試験・プレゼン試験・小論文・面接など数多くの壁を乗り越えなければなりません。研究も

並行しながらの試験対策はとにかく時間が限られており、計画的に行動することが必要でした。また面接が苦手だったので友人や先輩からアドバイスを積極的にもらい、自分をアピールする練習を繰り返して行いました。辛い時期もありましたが、周りの方々の支えもあり、無事に内定をいただくことができました。

現在私は食品衛生監視員として食中毒の調査や飲食店の監視・指導を行っています。県民の方に食品衛生の啓発活動を行うことも多く、「食の安心安全」の大切さを直接伝えることにやりがいを感じています。苦勞もたくさんありま

したが、就職活動に真剣に取り組んだからこそ、今の自分に合う職場を見つけることができたのだと思っています。

正直1年前は、私が薬に関わらない仕事をしているとは想像もしていませんでした。これから就職活動を始め方には、まず自分がどんな仕事に就けるのか情報収集し、いろいろな人から話を聞いてみてもらいたいです。そうすることで、自分の将来の方向性が見えてくると思います。



平成30年3月薬学部薬学科卒業

松田 裕樹 (まつだゆうき)

勤務先：徳島保健所 薬剤師

出身地：徳島県



私は5年生の病院・薬局実習を終えた段階で将来どの方面に進んでいいのか決められずにいました。薬学科は薬剤師の免許を取得できるため、医療機関や製薬企業